

第2学年 国語科

1 学習方法

使用教材	教科書：国語 2 年（光村図書）、新しい書写（東京書籍） 補助教材：国語の学習 2（明治図書）、新国語便覧（秀学社）、 役立つ文法（正進社）、単元別漢字マスター 2（学宝社）		持ち物	・教科書・ノート ・ワーク・国語便覧 ・文法・漢字問題集 ・習字道具
学習方法	学校	・忘れ物をせず授業に参加し、進んで発表や活動をする。 ・授業での先生の指示や説明、友達の発言をよく聞く。 ・丁寧なノートを作るとともに、自分の考えをメモする。 ・わからないことは質問し、解決する。 ・提出物は、期日を守って必ず提出する。		
	家庭	・出された宿題はその日のうちに計画を立てて確実にする。 ・授業で習った部分のワークは、その日のうちに進めておく。 ・漢字や文法の学習は繰り返し行う。（漢字ノートを活用する） ・答え合わせは、急がず正確に行う。間違えた問題はくり返し解く。 ・新しい単元に入ったら、わからない言葉の意味を辞書で調べる。 ・読書（1 ヶ月に 1 冊を目標）をしたり、新聞を読んだりして、日頃から文字を読むようにし、多くの言葉を理解して使えるようにする。		

2 評価について

評価観点		評価の方法
①国語への関心・意欲・態度	日本語や日本語文化に対して関心を持ち、意欲的に授業や家庭学習に取り組むことができる。	- 学習活動への参加の仕方や態度 - ノート、ワーク、プリント等の課題への取り組み方
②話す・聞く能力	自分の感想や意見を持ち、発表することができる。他人の意見、情報を正しく聞き取り、自分の考えを深めることができる。	- 授業での発言内容 - 聞き取りテスト - スピーチ - 班活動
③書く能力	言葉のきまりを理解し、読みやすく正しい文字で構成を考えて考えや思いをわかりやすく書くことができる。	- 作文、感想文、短歌などを書く力 - ノート、課題への取り組み - 定期テスト
④読む能力	さまざまな文章の要点や主題を読み取ることができる。	- 授業での発言内容 - ノートなどの記述状況 - 定期テスト
⑤言語についての知識・理解・技能	配当漢字の読み書きができ、日本語の文法や、特色を理解している。 字形を整え、文字の大きさ、配列に気をつけて正しく速く書ける。	- 漢字ノート - 定期テスト - 小テスト - 書写作品

3 主な学習計画について

	学習計画	学習内容・目標
一学期	見えないだけ アイスプラネット 要点を整理して聞き取る 枕草子 多様な方法で情報を集めよう 熟語の構成 生物が記録する科学 ～バイオリギングの可能性 説明の仕方を工夫する メディアと上手に付き合うために 類義語・対義語・多義語 新しい短歌のために 短歌を味わう 敬語 単語をどう分ける？～自立語	- 好きな表現を見つけ、感じたことが伝わるように読む。 - 登場人物の言動や心情を表す表現に注意して読み取る。 - 聞くポイントを理解し、要点や順序を整理しながらメモを取る方法を学ぶ。 - 作者のものの見方や感じ方に触れ自分の感じ方と比べる。 - 熟語の組み立て方のきまりを知り興味を持つ。 - 文章の構成や、事実と考えの示し方に着目して、説明の仕方の特徴をとらえる。 - メディアの特徴に興味を持ち、付き合い方について考える。 - 筆者のものの見方を捉え、短歌に描かれた情景・心情を味わう。 - 敬語のはたらきや種類について理解し、適切に使う。 - 自立語と付属語の用法の違いと活用の有無について理解し、品詞に分類する。
二学期	字のない葉書 言葉の力 気持ちを込めて書こう～手紙を書く モアイは語る一地球の未来 同じ訓、音をもつ漢字 魅力的な提案をしよう ～プレゼンテーションをする 書写 硬筆・毛筆 文法の扉2 走る。走らない。走ろうよ。 平家物語～扇の的～ 徒然草～仁和寺にある法師～ 漢詩の風景 君は最後の晩餐を知っているか	- 人物の言動や様子を描いた表現に着目し、人柄や心情をとらえる。 - 言葉の本質についての筆者の考えを読み取り、自分の考えを深める。 - 手紙の書き方を知り、気持ちを伝える工夫をする。 - 事実や根拠を確かめながら筆者の意見を読み取り自分の考えを広げ深める。 - 多様な方法で発表する材料を集め、聞き手を意識して材料を整理する。 - 行書でバランスを考えて書く。 - 古典独特の調子やリズムに慣れ、作品を読み味わう。 - 登場人物の心情を想像しながら作品を読み、古典に描かれたものの見方や考え方に触れる。 - 漢詩特有の言葉遣いや調子を生かし読み味わう。 - 歌われている情景を想像し、昔の人の心情に触れる。 - 表現の工夫などに注意しながら筆者の考えを読み取る。
三学期	意見文の説得力を考える 話し合って考えを広げよう 根拠を明確にして書こう 走れメロス 科学はあなたの中にある 小さな町のラジオ発～臨時災害放送局「りんごラジオ」 方言と共通語 送り仮名 付属語	- 課題に対する自分の意見を決め、立場とそれを支える根拠を明確にし、構成を工夫しながら意見文を書く。 - 相手の立場や考えを尊重し、互いの発言を検討しながら自分の考えを広げる。 - 作品を読み味わい、人間の生き方や考え方について自分の考えを持つ。 - 語句の使い方や表現、文体の特徴に注意して読み、人物像の変化をとらえる。 - 文章に述べられた事例と筆者の主張との関係を考えて内容を読み深める。 - ものの見方や考え方について知識や体験と関連付けて自分の考えを持つ。

第2学年 社会科

1 学習方法

使用教材	教科書： 中学生の地理（帝国書院） 新しい社会歴史（東京書籍） 補助教材： 中学校社会科地図（帝国書院） 三河地区地形図・歴史地図 地理の資料（正進社）、社会の自主学習地理（新学社） 学び考える歴史（浜島書店）、社会の自主学習歴史（新学社）		持ち物	・教科書 ・地図帳 ・ワーク ・ノート ・資料集 ・ファイル
	学校	・ノートを丁寧にしっかりととろう。→色ペン（2～3本）や色鉛筆を上手に使う。 ・テストや授業プリントをきちんとファイリングして必要なものはノートに貼ろう。 ・教科書の大事なところや図をチェックしよう。 ・わかったことは積極的に挙手，発言しよう。 ・振り返りとして、わかったことや疑問に思ったことをノートにまとめてみよう。		
学習方法	家庭	・普段から世界や日本の政治や出来事（ニュースや新聞を見てみよう）、社会的事象に関心をもち、わからない語句等があるときは資料集等を使って調べよう。ワークで繰り返し復習しよう。 ・その日の授業のポイントとなる語句，人物，出来事等を何度も口にしたり書いたりして覚えよう。		

2 評価について

評価観点		評価の方法
①社会的事象への関心・意欲・態度	「社会の学習に対して意欲的に取り組む。」 ○発言，作業活動の取り組み方。 ○ノートの中身やまとめ方。 ○準備や課題の内容，提出期日の厳守。	・学習活動への参加の意欲や態度 ・ノートやワーク等の作成状況，記述内容
②社会的な思考・判断・表現	「自分の考えをまとめ，表現できる。」 「社会的事象を多面的に考察・判断できる」 ○事実を結びつけたり予想したりして筋道を立てた発言や論述ができる。	・小テスト，定期テスト ・授業での発言内容，発言の仕方 ・ノートやワーク等の作成状況，記述内容・課題内容の理解
③資料活用 の技能	「資料を正しく読み取るとともに，適切に選択し活用できる。」 ○地図，統計，図表，史料を正確に読み取ることができ，課題を追求することに必要な資料を収集し活用できる。 ○統計資料や調査結果を活用して作品をつくることができる。	・小テスト，定期テスト ・授業での発言内容 ・課題への取り組み，内容の理解 ・ノートやワーク等の作成状況，記述内容
④社会的事象についての知識・理解	「基本的な事項や用語を正しく理解できる。」 ○基本用語を理解し，正しく使うことができる。 ○社会的事象の因果関係や基本的背景を理解する事ができる。	・小テスト，定期テスト ・発言内容

※課題研究（郷土研究，新聞スクラップ，統計グラフコンクール）は①②③④に共通

3 主な学習計画について

	学習計画	学習内容・目標
一学期	【歴史的分野】 第3章 中世の日本 【地理的分野】 第2部 日本のさまざまな地域 第1章「日本の姿」 第2章「世界と比べた日本の地域的特色」	第3章 ・武士政権の誕生，武士の支配の拡大，武士社会の発展という大きな時代の流れを理解させる。また，東アジア世界との密接な関わりと国内政治への影響を理解する。 第2部-1 ・世界の中での日本の位置や領域，国内の地域区分に関心をもち，地図を活用し，それらの知識を身につける。また，現在の日本を取り巻く課題について理解し，それらについて考える。 第2部-2 ・世界と比べた日本について，さまざまな資料から適切に情報を読み取り，自然・人口・産業など，各観点の日本全体の特色を理解し，その知識を身につける
二学期	第3章「日本の諸地域」 【歴史的分野】 第4章「近世の日本」	第2部-3 ・日本の諸地域の地域的特色に対する関心をもち，さまざまな資料から適切に情報を読み取り，7つの視点から地域的特色を理解し，それらについて考える。 第4章 ・織田・豊臣および江戸幕府によって安定した社会が生まれ，しだいに変化していく原因について，社会のしくみや経済の変化から考える。 ・ヨーロッパ文化の伝来から外交の変遷，産業や交通の発達と町人文化など近世の社会の特色を理解する。
三学期	第5章「開国と近代日本の歩み」 第6章「二度の世界大戦と日本」	第5章 ・近代日本が成立していく過程をアジア諸国との関係に着目しながら考える。 ・日本の近代産業や近代文化の影響で人々の生活が大きく変化したことを理解する。 第6章 ・2回の世界大戦や国際情勢を背景に，日本の動きをアジア諸国との関係に着目しながら理解する。 （※ 3年1学期の内容も含めて記載）

第2学年 数 学 科

1 学習方法

使用教材	教科書： 未来へひろがる数学 2		持ち物	・教科書 ・テキスト ・ノート ・問題集 2 冊
	補助教材：数学のベーシックマスター（新学社）、 完成問題集、関数テキスト、図形テキスト			
学習方法	学校	・本時のめあてを確認し、教科書を中心に学習を進める。 ・自分の考えを言葉や式で表現できる力をつける。 ・問題解決の筋道や過程を大切にする。 ・復習時に問題解決の過程が分かるようにノートをとる。		
	家庭	・復習として、教科書、数学のベーシックマスター、完成問題集の問題を繰り返し解く。 (各自で答え合わせをし、定期的に提出をする。) ・教科書の例題を中心に予習をする。		

2 評価について

評 価 観 点		評 価 の 方 法
① 数学への関心・意欲・態度	○さまざまな事象を数量や図形などでとらえたり、それらの性質や関係を見いだしたりすることができる。 ○数学的に考え表現することに関心がある。 ○意欲的に数学を問題の解決に活用して考えたり判断したりしようとする。	・学習への意欲や態度 ・ノートやワーク等の作成 ・授業の振り返りの記述内容
② 数学的な見方や考え方	○数量や図形などについての基礎的・基本的な知識及び技能を活用できる。 ○事象を数学的な推論の方法を用いて論理的に考察し表現することができる。 ○過程を振り返って考えを深めたりするなど、数学的な見方や考え方を身につけている。	・定期テスト・小テスト ・課題への取り組み、内容の理解 ・授業での発言内容
③ 数学的な技能	○文字を用いた四則計算ができ、数量の関係や法則を方程式などを用いて表現し処理できる。 ○図形の性質について簡潔に表現できる。 ○関数関係を的確に表現できる。 ○確率を求めたりするなど、技能を身につけている。	・定期テスト・小テスト ・授業での発言内容 ・ノートやワーク等の記述内容
④ 数量や図形などについての知識・理解	○文字式のはたらき、連立二元一次方程式、平面図形の性質、図形の証明の必要性和意味を知る。 ○一次関数の特徴、確率の必要性和意味などを理解し、知識を身につけている。	・定期テスト・小テスト ・授業での発言内容 ・ノートやワーク等の記述内容

3 主な学習計画について

	学習計画	学習内容・目標
一学期	・資料の活用	・度数分布表やヒストグラム、度数分布多角形、累積度数、相対度数の必要性和意味 ・代表値の必要性和意味 ・近似値、有効数字の意味と表し方
	・式の計算 ・連立方程式	・文字の式に関連した用語の意味 ・同類項の意味と同類項をまとめること ・多項式の四則計算 ・乗除の混じった単項式の計算 ・簡単な等式変形 ・二元一次方程式とその解の意味 ・連立方程式とその解の意味 ・加減法による連立方程式の解き方 ・代入法による連立方程式の解き方 ・連立方程式を使って、問題を解決する
二学期	・一次関数	・一次関数の意味 ・一次関数の値の変化 ・一次関数 $y = ax + b$ のグラフの意味 ・傾きと変化の割合の関係 ・グラフから式を求める ・2直線の交点の座標を連立方程式を用いて求めること
	・図形の調べ方 ・図形の性質と証明	・対頂角・同位角・錯角の性質 ・三角形の内角・外角 ・三角形の合同条件 ・証明のしくみ ・二等辺三角形の性質と証明
三学期		・直角三角形の合同条件 ・逆の意味とその真偽 ・平行四辺形の性質と証明 ・長方形、ひし形、正方形の定義 ・平行線による等積変形
	・確率 ・箱ひげ図とデータの活用	・実験を通して確率の意味を知る ・簡単な場合について確率を求める ・確率を余事象の考えによって求める ・箱ひげ図に関連した用語の意味 ・データを活用して問題を解決すること

第2学年 理 科

1 学習方法

使用教材	教科書： 未来へひろがるサイエンス2・マイノート（啓林館）		持ち物	・教科書 ・ノート ・ファイル ・便覧 ・筆記用具
	補助教材：資料集『理科便覧』（浜島書店） 理科の自主学習（新学社）			
学習方法	学校	・授業を集中して聞く。先生の問いには積極的に挙手して発表する。疑問、質問がある場合は挙手して発表する。 ・黒板の板書や注意事項、授業のポイントなどをノートに書く。 ・実験や観察の手順をしっかりと聞き、注意事項を守って実験や観察を行う。 ・実験や観察のレポートに結果や考察を書く。		
	家庭	・宿題が出たら、必ずその日のうちにやっておく。 ・提出物は期限どおりに提出できるように家庭で復習をしていく。 ・教科書の大事なところを何度も読み、重要用語を漢字で書けるようにする。 ・新聞やテレビなどを見て、自然現象や科学的事象に関心を持つ。		

2 評価について

評価観点		評価の方法
①自然事象への関心・意欲・態度	○自然事象の関心を持って、意欲的に学習できる。 ○要点を整理しながら、ノートをまとめることができる。 ○日常生活で見られる事象と関連づけることができる	・学習活動への参加の仕方や態度 ・課題(宿題やレポート)への取り組み、提出状況 ・ふり返りの記述 ・プリントやワーク等の作成状況 ・定期・単元および小テスト ・授業での発言
②科学的な思考・表現	○課題に対して、科学的な法則をもとに、応用して考えることができる。 ○観察・実験の結果を分析し解釈することができる。 ○考察を、文章などで表現することができる。	・授業での発言 ・学習課題、宿題・レポートへの取り組み ・ノートやワーク等の作成状況 ・定期・単元および小テスト
③観察・実験の技能	○積極的に実験・観察に取り組み、正しい実験操作ができる。 ○実験・観察の結果を記録し、レポートを作成できる。	・授業での発言 ・学習課題、宿題・レポートへの取り組み ・ノートやワーク等の作成状況 ・定期・単元および小テスト
④自然事象についての知識・理解	○自然事象のしくみや法則について理解できる。 ○自然事象について、日常生活と関連づけて説明できる。	・授業での発言 ・定期・単元および小テスト

3 主な学習計画について

	学習計画	学習内容・目標
一学期	活きている地球 3章 大地は語る	・地層のでき方や重なり方の規則性を理解する。 ・化石ができた時代や当時の環境を推測できる力を身につける。
	化学変化と分子・原子 1章 物質の成り立ち 2章 物質を表す記号 3章 さまざまな化学変化	・物質を分解する実験を行い、分解して生成した物質からもとの物質の成分が推定できる。 ・物質は原子からできていることを説明できる。・原子や分子を原子の記号で表すことができる。 ・分子を化学式で表すことができる。 ・2種類の物質を化合させる実験から、反応前と異なる物質が生成されることを見いだす。 ・化学変化を化学反応式で表すことができる。
二学期	4章 化学変化と物質の質量 動物のくらしやなかまと生物の変遷 1章 生物の体をつくる細胞 2章 生命を維持するはたらき 3章 感覚と運動のしくみ 4章 動物のなかまと生物の進化	・化学変化の前後で、質量の総和が等しいこと、反応する物質の質量の間に一定の関係があることを見いだす。・生物の組織の観察をし、動物と植物の細胞の違いを見いだす。 ・消化や呼吸など、動物が必要な物質を取り入れ運搬しているしくみを理解する。 ・不要な物質を排出するしくみを理解する。 ・刺激に反応するしくみを、感覚器官、神経、運動器官のつくりと関連付けて理解する。 ・体のつくりや子の生まれ方などの特徴を比較し、脊椎動物が分類できることを見いだす。
	地球の大気と天気の変化 1章 空気中の水の変化 2章 天気の変化と大気のき 3章 大気の動きと日本の四季	・雲・雨・雪は水の循環の一部だと認識し、雲や雨のでき方を説明できる。 ・高気圧や低気圧の移動と、天気との関係を見いだす。
三学期	電流の性質とその利用 1章 電流の性質 2章 電流の正体 3章 電流と磁界	・陸と海の温度差によって、季節風や海陸風が生じることが理解できる ・日本付近の3つの気団と、日本の四季の天気の特徴を関連づけて理解できる。 ・回路の基本的な性質や、電流と電圧の関係について規則性を見いだす。 ・静電気や真空放電の実験から、電流の正体について理解できる。 ・放射線の性質と、その利用について理解できる。 ・電流がつくる磁界の規則性を見出し、電流が磁界から受ける力を調べることができる。 ・電磁誘導や発電機の実験を通して、直流と交流の違いを理解できる。

第2学年 音楽科

1 学習方法

使用教材	教科書：中学校の音楽 2. 3の上」(教育芸術社) 中学校の器楽 (教育芸術社) 補助教材：マイソング (教育芸術社)		持ち物 ・教科書 ・ファイル ・リコーダー
学習方法	学校	人は表現することで、自分と出会い、自分の心を収め、受け入れ、理解することができません。表現は自分自身との対話とも言えます。表現は言葉や声、身振り手振りや表情などで表し、自分を伝えるものです。 ○自分の感性に従い、様々な方法で自分を表現していく。 ○音楽を通して仲間の価値観や考え方を共有し合い、自分の表現につなげる。 ○楽譜の書きこみや、調べ学習は、自分でしっかりとやっていく。	
	家庭	○生活の中にある音を意識したり、様々な音楽に触れて音楽性を伸ばし、感性を育てる。 ○普段何気なく行っている呼吸について、腹式呼吸を意識して生活してみる。 ○リコーダーの演奏で授業中にできなかったところを、きちんと練習しておく。 ○授業で習った記号や語句を復習し、しっかりと覚えておく。	

2 評価について

評価観点		評価の方法
①音楽への関心・意欲・態度	○忘れ物をせず、積極的に授業に参加している。 ○演奏、歌唱の際、集中して練習に取り組んでいる。 ○教師の指示やアドバイスを聞き、上達しようとして努力している。	準備物の状況 毎回の授業の態度・姿勢 実技テスト（歌唱、リコーダー） 定期テスト
②音楽表現の創意工夫	○アルトリコーダーの演奏で良い音色で演奏している。 ○音楽記号等を理解し、歌唱の際の声の質、発音、発声に工夫して取り組んでいる。 ○歌唱の際に歌詞の内容を表現できている。 ○ブレスの仕方が音楽的である。 ○他の声部を意識して歌ったり、演奏している。	アルトリコーダーの音色、タンギングの様子歌唱の際の声の大きさ・質（響き）、発声の様子、発音の工夫、毎回の授業での歌唱やリコーダーの演奏におけるフレーズのとらえ方やブレスの仕方、実技テスト（歌唱、リコーダー）定期テスト
③音楽表現の技能	○アルトリコーダーの運指やタンギングが正確である。 ○歌唱の際の音程が正確である。 ○アクセントやリズム、強弱を適切に演奏に生かしている。（音楽記号、標語の理解）	アルトリコーダーの試験曲でのタンギングや運指の正確さ 毎回の授業の様子（音程、リズム） 実技テスト（歌唱、リコーダー）
④鑑賞の能力	○範唱や範奏や仲間の演奏や発表を熱心に聴くことができる。 ○鑑賞曲を聴き、作曲者の意図心情を感じ取ったり、曲からイメージをふくらませたりすることができる。 ○楽曲の雰囲気を感じ取れている。 ○楽曲の背景（作曲家、楽曲等）の知識理解。	鑑賞中の態度 鑑賞のレポート 定期テスト

	学習計画	学習内容・目標
一学期	「校歌」 「翼をください」 「Believe」 「夢の世界を」（混三） リコーダーの発展 「ラヴァースコンチェルト」 「小フーガ短調」（鑑賞） 実技テスト 期末テスト 合唱コンクールの取り組み	オリエンテーション ・呼吸法・発声法の確認 ・のびやかな歌声で歌う。 ・混声三部合唱の響きを感じる ・日本語の美しさを学ぶ ・1年次の復習と発展 ・バロック時代・バッハについて学ぶ ・パイプオルガンの演奏や響きに親しむ。 ・歌唱テスト ・リコーダーテスト ・定期テスト ・合唱コンクールの選曲
二学期	合唱コンクールの取り組み 「大切なもの」（混三） 「交響曲第5番」ハ短調（鑑賞） リコーダーの発展② 「ふるさと」 実技テスト 期末テスト	・各クラスでの取り組み ・混声三部合唱の発展 ・楽曲の構成について学ぶ。 ・古典派・ベートヴェンについて学ぶ ・オーケストラの演奏や響きに親しむ。 ・リコーダーで2重奏に親しむ。 ・歌唱テスト ・定期テスト
三学期	「旅立ちの日に」 学年末テスト 実技テスト 「君に会えたことに」（混三）	・卒業式に向けて感謝の気持ちをもって歌う。 ・定期テスト ・リコーダーテスト ・いろいろな曲を楽しく歌う。 ・3年生に向けて

第 2 学年 美術科

1 学習方法

使用教材	教科書：美術 2・3 上 学びの深まり、美術 2.3 下 美の探求 (日本文教出版) 補助教材：美術資料 (浜島書店)		持ち物	・教科書・資料集 ・ファイル ・スケッチボックス ・鉛筆 他
学習方法	学校	・授業の準備をして、チャイム着席の徹底。・必要なもの忘れず準備する。 ・道具の正しい使い方を理解して、あきらめずに最後までていねいに制作を進める。 ・わからないことは先生にアドバイスを求める。 ・作品の制作過程でアイディアスケッチの時間があるので、アイディアをしっかり練るのが好評価のポイントです。空いた時間を利用して少しずつ練るようにする。		
	家庭	・普段からものをよく見ること。(見ることから美術は始まります) ・日常生活の中の美術の役割を意識してみる。 ・社会の動きや暮らしの中に表現活動の主題を見つける。 ・自然や美術作品などに興味ある作家や作品を見つける。 ・授業で出された課題は、決められた期日までに必ずする。授業に必要な材料や道具を準備する。		

2 評価について

評価観点		評価の方法
① 美術への関心・意欲・態度	○楽しく生き生きと表現しようとしている。 ○向上しようとして創意工夫をし努力しようとしている。 ○鑑賞することを楽しんでいる。	・自分から積極的に学習にとりくもうとしている。 ・粘り強く最後までとりくむことができる。 ・準備物や用具の取り扱い、片づけができる。
② 発想や構想の能力	○「感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能などを基に豊かに発想し、形や色彩などの構成などを工夫し、心豊かで創造的な表現の構想をすることができる」 ○自分らしく生き生きとして構想を練っている。	・自分のイメージを様々な角度から考えることができる。 ・イメージしたものを表現することができる。
③ 創造的な技能	○「表現の技能を身につけ、造形感覚や感性などを働かせて自分の表現方法を創意工夫し創造的に表現することができる」 ○楽しく創造的に表現している。	・表現を工夫し、より良いものに創意工夫することができる。 ・最後まで丁寧に仕上げることができる。 ・材料や用具の特性を生かし、表現することができる。
④ 鑑賞の能力	○いろいろな見方や感じ方、発想のしかた、知識等を学び、多様な表現の工夫や美しさなどを感じ取り味わっている。	・作品を鑑賞し、よさや美しさを感じ取ることができる。 ・作者の思いや意図を感じることができる。 ・自分の作品を鑑賞し評価することができる。

	学習計画	学習内容・目標
一学期	「美術」についてオリエンテーション ・授業に対する心構えと授業のルール [鑑賞] 「日本の美」 ・ジャポニズムと印象派 ・伝統色と文様 [工芸] ・張り子の貯金箱	・〈規律ある態度・約束や規律を守る〉 ・作品を鑑賞し、時代背景を理解し作者が伝えたかったことを想像する。 ・日本の美術の発展とヨーロッパ印象主義にもたらした影響について知る。 ・日本の工芸技法を知り、自分らしい感覚を生かして豊かに発想し構想する。 ・表現意図と表現の方法や技法との適否、美しさなどを総合的に考えながら自分らしく創造的な工夫をして表現する。 ・丁寧な作業で作成する。 ・表現したイメージを言葉で表現する。 ・作者の制作意図、創造的な表現の工夫などを感じ取り、作品に対する自分の価値意識を持って評価する。
二学期	[平面構成] ・言葉のイメージ [作品鑑賞] ・最後の晩餐	・言葉からのイメージをデザインし、構成の仕方に興味を持ち、自分らしい造形感覚を生かし豊かに発想し構成をする。 ・色の組み合わせを効果的に使い、丁寧に着色し美しく仕上げる。 ・描画におけるものの見方、構図、形や色彩の表し方、表現意図に応じた材料や用具の生かし方などの基礎的技能を身に付ける。 ・普段使用するシューズを自己の内面に向いあい、主題性をしっかりと意識化して制作する。 ・作品を鑑賞し、自分なりの鑑賞の観点をもつとともに、作者が伝えたかったことを想像してみる。 ・仲間の作品のよさや工夫を見つけ、自分なりに次の作品への課題や工夫を見つけ出す。 ・透視図法について作品の構図から理解し、次の作品に生かす。
三学期	[透視図法] ・一点透視法、二点透視法	・作者の意図と工夫を読み取ることに興味を持ち、美術を通した国際理解を深める。 ・作者の心情や感じ取ったことを初表で切る。 ・錯視によるデザインの効果やおもしろさを味わう。 ・一点透視図法、二点透視図法の絵画の基本的な図法を身につける。

第 2 学年

保健体育科

1 学習方法

使用教材	教科書：保健体育（大修館）		持ち物	・体操服 ・ジャージ ・ファイル (学校で用意)
	補助教材：中学体育実技（学研）			
学習方法	学校	・体操服を忘れないようにする。（原則として見学時も体操服に着がえる） ・種目のルールや安全に気をつける。 ・仲間と協力する。 ・どの種目にも積極的に取り組む。（準備や片づけ等も積極的に取り組む）		
	家庭	・時間を見つけて身体を動かす。（ストレッチ・筋トレ・ジョギングなど） ・授業で身につけた知識や身のこなしを日常生活に生かす。		

2 評価について

評 価 観 点		評 価 の 方 法
①運動や健康・安全への関心・意欲・態度	○体育の授業に積極的に取り組むことができる。 ○服装・頭髪・つめなど安全に活動できる態度でぞむことができる。 ○準備・片付けを積極的に取り組むことができる。 ○苦手な種目に対しても積極的に取り組むことができる。 ○仲間に対して言葉がけができる。	・欠席・遅刻・見学日数 ・服装・頭髪等の参加態度 ・体操服・準備物の忘れ物 ・授業中の様子観察（準備・後片付け、集合・整列の態度、その他授業態度）
②運動や健康・安全についての思考・判断	○正しいルールや動きを知り、そのルールや動きを意識できる。 ○施設や用具の安全を常に確認することができる。 ○個人やチームの課題をみつけ、目標達成のために練習や課題（作戦）を工夫することができる。 ○集団の中でどのように動いたらいいか考えることができる。 ○学んだことを振り返ることができる。	・授業中のテスト ・種目の振り返り ・期末テスト ・プリント（ファイル）の内容 ・授業中の様子観察（ゲーム・練習の様子など）
③運動の技能	○正しい技能を身につけ、設定した目標を達成することができる。 ○もっている技能を発揮してゲームを行うことができる。 ○練習やゲームを通して集団的スキルや個人的スキルを高めることができる。	・授業中の技能テスト ・種目の記録 ・授業中の様子観察（ゲーム・練習の様子など）
④運動や健康・安全についての知識・理解	○健康・安全について理解できる。 ○ルールや技能のしくみについて理解できる。	・期末テスト ・プリント（ファイル）の内容 ・授業中の様子観察（ゲーム・練習の様子など）

3 主な学習計画について

	学習計画	学習内容・目標
一学期	・体育理論 ・からだづくり ・集団行動、ラジオ体操 ・新体力テスト ・球技：ネット型（バレーボール・ソフトテニス） ・陸上競技（跳躍） ・水泳 ・保健	・スポーツが心身の発達に与える効果と安全。 ・運動を通して、体の状態や身のこなしを整える。 ・集団行動での基本的な行動の仕方。 ・持久力、柔軟性、筋力等の測定をする。 ・ボールの扱いや、体の移動の仕方に慣れる。 ・踏み切りやすい走りをする。 ・クロール、平泳ぎを中心に泳法の一連の動作を確かめ泳ぐ。 ・環境の変化に体はどう対応するか。 ・快適な環境条件、空気、水と私たちの生活。 ・意識がない場合の手当、傷の手当。
二学期	・体育祭練習 ・器械運動（跳び箱） ・球技：ベースボール型（ソフトボール） ・持久走 ・剣道	・踏み切りやすい助走をする。 ・きれいな空中ポーズや着地を決める。 ・正確な捕球と簡単な守備位置に関するチームプレーを身につける。 ・長い距離を自分に適したペースで走り通す。 ・礼儀を重んじる。規則を厳守する。 ・基本となる動作や技で正確に打ち込むことができる。
三学期	・球技：ゴール型（ハンドボール、サッカー） ・ダンス ・球技：ネット型（バドミントン）	・パス、シュート、ボールキープなどの技術を身につけ、相手のマークをかわしてシュートをする。 ・仲間と協力し、音楽に合わせて動く。 ・ラケットやシャトルの操作に慣れ、ラリーを続ける。

第2学年 技術科

1 学習方法

使用教材	教科書：新しい技術・家庭　技術分野（東京書籍）		持ち物	・教科書 ・ノート
	補助教材：			
学習方法	学校	・実習中心になるため、指示をよく聞きましょう。 ・失敗を多く経験するつもりでどんどん取り組みましょう。 ・工具は正しく安全に使うとともに、積極的に使用しましょう。 ・安全第一を心掛けて実習に取り組みましょう。		
	家庭	・身の周りの製品や仕組み、構造に目を向けて生活をしよう。 ・授業後に教科書の対応するページをよく読んでおこう。 ・宿題は丁寧にこなし、期限内に提出しよう。		

2 評価について

評価観点		評価の方法
①生活や技術への関心・意欲・態度	○ものづくりや生物育成の興味がある ○学んだ技術や知識を生かし，積極的かつ安全に作業を行う。	・活動や発言の内容 ・ワークシート ・提出物や宿題の内容
②生活を工夫し創造する能力	○生活と技術との関わりに関する課題を見つける。 ○ものづくりに関する技術を適切に評価し、工夫・活用しようとする。	・定期テスト ・作品 ・活動や発言の内容 ・ワークシート ・提出物や宿題の内容
③生活の技能	○ものづくりや生物育成について、基礎的な技術を身につけ、正確かつ安全に技術を発揮することができる。	・定期テスト ・実技テスト ・活動や作品の内容 ・ワークシート ・提出物や宿題の内容
④生活や技術についての知識・理解	○生活の中での技術の役割について理解し、ものづくりや生物育成の活用に必要な基礎的な知識を身につけている。	・定期テスト ・ワークシート ・提出物や宿題の内容

3 主な学習計画について

	学習計画	学習内容・目標
前期	ものづくりの見通し	・ものづくりと栽培の見通しをたて，身の回りの環境に目を向ける。
	生物を育てる技術の特徴	・生物育成に適する条件，育成環境を管理する方法についての知識を身につけ，技術を適切に評価し，活用する。
	生物を育てるための計画と管理と評価・活用	・生物を育てる技術の役割や影響を，社会的，環境的および経済的側面などから比較・検討するとともに，その解決策を見出す。
	製作品の設計・製作	・材料の特徴と加工方法・設計・部品の加工・組み立てと仕上げを行う。
	材料と加工の技術の評価・活用	・身の回りの製品の強さや耐久性，人との親和性，環境との調和などの観点から意欲的に調べる。

第2学年 家庭科

1 学習方法

使用教材	教科書：新しい技術・家庭 家庭分野（東京書籍） 補助教材：学習ノート家庭分野 わたしたちの衣生活と住生活（東京書籍），基礎縫いティッシュカバー		持ち物	・教科書 ・学習ノート家庭分野
学習方法	学校	・授業に必要なものを準備する。 ・積極的に挙手をして、授業に参加する。 ・先生の話や友達の意見を聞いて、プリントの記入をする。 ・実習時は指示をよく聞き、困ったことや苦手なことはグループで協力しながら作業を進める。 ・プリント、宿題、作品は期限を守って提出する。		
	家庭	・授業で学習したことをもとに家での生活を振り返り、よりよくするために生かす。 ・実習でできるようになったことを家でも実行する。 ・新聞やテレビなどからの生活にかかわる情報に関心を持つ。		

2 評価について

評 価 観 点		評 価 の 方 法
①生活や技術への関心・意欲・態度	○生活や技術について関心を持ち、生活を充実向上するために進んで実践しようとする。	・活動への参加の仕方や態度 ・課題への取り組み ・提出物・授業への準備
②生活を工夫し創造する能力	○生活について見直し、課題を見つけ、その解決を目指して自分なりに工夫し創造する。	・授業での工夫 ・提出物
③生活の技能	○生活に必要な基礎的な技術を身につけている。	・実習での様子 ・技能テストの様子
④生活や技術についての知識・理解	○生活や技術に関する基礎的な事項や生活と技術とのかかわりについて理解し、知識を身につけている。	・定期テスト

3 主な学習計画について

	学習計画	学習内容・目標
前期	＜私たちの衣生活と住生活＞ 1. 衣生活と自立 ①着る目的を考えよう 衣服の計画的な活用方法を考えよう ②必要な衣服を選択しよう ③衣服の手入れをしよう 衣服の補修(実習) ④生活に役立つ小物の製作 2. 住生活と自立 ①住まいの役割とは何だろう ②家族と住まいのかかわりを考えよう ③安全に住むためにはどうしたらよいだろう ④健康で快適な室内空間を考えよう ⑤よりよい住生活を目指して	・衣服と社会生活のかかわりを考え、自分らしい着方が工夫できる。 ・既制服の表示の見方や選び方がわかる。 ・衣服材料の種類や特徴について知り、それに応じた手入れの仕方がわかる。 ・衣服の洗濯のしかたがわかる。 ・ボタンつけ、簡単なほころび直し(まつり縫い)ができる ・基本的な縫い方で、小物をつくることができる。 ・自分で考えたデザインで飾り付けができる。 ・住まいの働きを知る。 ・住まいの中の空間の働きについて知る。 ・みんなが快適に住まうための工夫ができる。 ・住まいを清潔に保つ手入れの仕方を考える。 ・安全で心地よい住まいの整え方を知る。 ・自然や自然エネルギーを生かした住まい方を知る。

第2学年 英語科

1 学習方法

使用教材	教科書：NEW CROWN ENGLISH SERIES 2（三省堂）		持ち物	・教科書 ・ファイル ・フレンドノート ・ワーク 2 冊 ・英語ノート
	補助教材：フレンドノート 前期・後期（正進社） ニューエンジョイワーク（教育同人社） 語順ドリル（正進社）			
学習方法	学校	・忘れ物をせず、授業に意欲的に参加しましょう。 ・間違いを恐れず、たくさん英語で話したり書いたりしましょう。 ・積極的に大きな声で音読しましょう。		
	家庭	・教科書の新出単語や、本文をノートにまとめましょう。 ・学習したことは、繰り返し読み、書いて覚えましょう。 ・教科書本文を暗唱できるまで音読しましょう。 ・ワークなどを使い、練習問題にも慣れておきましょう。		

2 評価について

	評価観点	評価の方法
①コミュニケーションへの関心・意欲・態度	意欲を持って授業に取り組み、挙手発言や、ペアまたはグループ等での言語活動に参加できる。	・授業における態度・挙手・発言 ・宿題・言語活動への参加の仕方や態度 ・ノート・プリント・ワークの内容
②外国語表現の能力	【話すこと】 学んだモデル文を参考に、場面に合わせて、話したり、聞いたりできる。その際には、相手の目を見て、会話ができる。 【書くこと】 学んだモデル文を参考に、場面に合わせて書くことができる。	・授業中の発言の内容 ・パフォーマンステスト ・定期テスト ・小テスト ・授業での課題への取り組み
③外国語理解の能力	【聞くこと】 身近な話題について、必要な情報を聞き取ることができる。 【読むこと】 身近な話題について、必要な情報を読みとることができる。	・授業中の発言の内容 ・定期テスト ・小テスト ・授業での課題への取り組み
④言語・文化についての知識・理解	【言語】 学習した文法事項、場面や状況にふさわしい表現を身につけている。 【文化】 各国の文化や風習・習慣などの違いについて理解できる。	・授業中の発言の内容 ・定期テスト ・小テスト ・授業での課題への取り組み

3 主な学習計画について

	学習計画	学習内容・目標
一学期	Lesson 9 Four Seasons Project 3 大切なものを紹介しよう Let's Read Alice and Humpty Dumpty Lesson 1 Aloha Lesson 2 Peter Rabbit Lesson 3 The Ogasawara Island Lesson 4 Enjoy Sushi	・一般動詞の過去形の文を理解し使うことができる。 ・絵や写真を見せながら自分にとって大切なものを紹介することができる。 ・童話を読んであらすじを理解することができる。 ・過去形を理解し、使うことができる。 ・ハワイの伝統文化について知る。 ・be 動詞の過去形や過去進行形を理解し、使うことができる。 ・接続詞 when を理解し、使うことができる。 ・未来の表現や接続詞 that を理解し、使うことができる。 ・環境問題に関する講演資料を読み考えることができる。 ・There is (are)～. や動名詞を理解し、使うことができる。 ・寿司についての記事を読み、日本の食文化への関心を高める。
二学期	Project 1 有名人を紹介しよう Let's Read 1 Pot of Poison Lesson 5 Uluru Lesson 6 My Dream Project 2 自分の夢を紹介しよう Lesson 7 Presentation	・好きな有名人のプロフィールを紹介するポスターを作る ・狂言の『附子』を原作にした話を読み理解する ・give など+A+B や look など+A を理解し、使うことができる ・観光地についてのコラムを読み、旅の楽しさと文化を知る ・不定詞（名詞/副詞/形容詞用法）を理解し、使うことができる ・将来の夢や将来したいことについてスピーチすることができる ・比較級、最上級, as～as…を理解し、使うことができる ・クラスで人気のあるものについて、プレゼンテーションをする
三学期	Lesson 8 India, My country Project 3 Let's Read 2 Landmines and Aki Ra 一年間の総復習	・受け身を理解し、使うことができる ・インドの言語と文化について、関心を持つ ・自分の町についてメールを書く ・カンボジアのアキ・ラーさんの伝記を読み、理解する ・一年間に学習した英語を用いて自己表現ができる